

RELAY Plus 胸部ステントグラフトシステム 操作上のチェックポイント

操作

1. 適応に則った症例の選択
2. CT 読影とサイジング、デバイスの組み合わせを含むプランニング
3. アクセスルートの選択と適切なConduit等を用いたアプローチ
4. ステントグラフト挿入時に必要となる周辺デバイスの準備
5. 留置位置とサイズ選択の為の造影
6. ステントグラフトの確認と準備（サイズと形状）
7. 安全カバーが取付けられている事、コントローラーが「1」の位置にある事を確認
8. 先端チップとアウターシースの適切な位置関係を確認の上、デリバリーシステムのエア除去
9. デリバリーシステムの親水性コーティングを活性化後、ステントグラフトの挿入
10. 留置位置と展開位置の確認（C-armの角度等）
11. 先端が末梢側ランディングゾーンの手前に到達するまでデリバリーシステム（アウターシース）を前進
12. 安全カバーを取り除き、インナーシースが中枢側ランディングゾーンに到達するまで展開グリップ押す
13. 造影を行い、各ステントグラフトマーカの位置を確認し、留置位置を決定
14. コントローラーを「2」の位置に合わせ、展開グリップを引き、ベアステントと中枢端のグラフト部のみ露出
15. 必要に応じてステントグラフトの留置位置を微調整
16. 一回の動作で展開グリップを引き、インナーシースをアウターシース内へ収納し、ステントグラフトを展開
17. 「3」と記載された先端リリース固定具を取り外し、引くことでベアステントの先端部をリリース
18. コントローラーを「4」の位置に合わせ、デリバリーシステムの除去
19. 必要に応じた圧着バルーンの使用
20. 最終確認造影を行い、エンドリークが無いことを確認（追加ステントグラフトが無い場合は24へ）
21. 追加ステントグラフトの準備および上記6.～9.の実施
22. 追加ステントグラフトの留置位置およびオーバーラップ長の確認
23. 追加ステントグラフトの挿入および上記10.～19.の実施
24. アクセスルートの確認、適切な処置
25. 併用デバイスを抜去し、アクセス動脈切開部を縫合